2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	株式会社フルヤ金属	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7826	URL	https://www.furuyametals.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	古屋　堯民
問合せ先責任者	（役職名） 財務・経理部長	（氏名）	松本　重幸　　TEL　03-5977-3377
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	37,584	62.0	13,042	282.4	13,098	290.2	8,863	280.6
2026年６月期第１四半期	23,201	66.9	3,410	23.1	3,356	42.0	2,328	43.1

（注）包括利益　　2027年６月期第１四半期　8,835百万円（ 277.4%）　　2026年６月期第１四半期　2,341百万円（ 48.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	360.31	359.13
2026年６月期第１四半期	94.76	94.45

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	157,085	83,274	52.9
2026年６月期	142,960	78,498	54.8

（参考）自己資本　　2027年６月期第１四半期　83,129百万円　　2026年６月期　78,351百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	165.00	165.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	180.00	180.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	0.9	26,500	6.9	26,000	5.4	17,700	10.4	719.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　ー社（社名）　ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	25,389,636株	2026年６月期	25,389,636株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	790,374株	2026年６月期	790,331株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	24,599,292株	2026年６月期１Ｑ	24,576,041株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（四半期連結損益計算書） …… 6
（第１四半期連結累計期間） …… 6
（四半期連結包括利益計算書） …… 7
（第１四半期連結累計期間） …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策を巡る不確実性に加え、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。また、エネルギー価格や原材料価格の変動が、企業活動や国際的なサプライチェーンに及ぼす影響が懸念されました。中国経済は、内需の回復が力強さを欠く状況が続き、不動産市場の低迷などを背景に、景気の先行きには引き続き注視が必要な状況となりました。日本経済は、緩やかな回復基調が続いた一方、物価上昇の継続や中東情勢に伴うエネルギー価格の変動、為替相場の変動などが企業収益に影響を及ぼす懸念があり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。このような事業環境のもと、業績面においては、生成AIの普及に伴うデータセンターへの投資の拡大などを背景に、デジタル分野向け製品への需要は堅調に推移いたしました。また、世界的な脱炭素化やクリーンエネルギーへの投資の拡大などを背景に、グリーン分野における研究開発や新規案件への取り組みも進展いたしました。一方で、貴金属相場が高水準で推移したことにより、市場価格の変動が売上高の押し上げ要因となった反面、調達コストの管理が重要課題となりました。当社グループは、これらの需給動向や為替動向などの外部環境の変化に迅速に対応し、高付加価値製品へのシフトと安定供給体制の強化を推進いたしました。

このような状況のもと、当第１四半期連結累計期間の連結業績は、売上高37,584百万円(前年同四半期比62.0%増)、売上総利益14,408百万円(前年同四半期比223.7%増)、営業利益13,042百万円(前年同四半期比282.4%増)、経常利益13,098百万円(前年同四半期比290.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益8,863百万円(前年同四半期比280.6%増)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

①　セグメント別の業績

［電子］

医療用シンチレーター（放射線にあたると、蛍光を発する物質）の単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が堅調に推移するとともに、データセンター間の光通信用アイソレーター（順方向に進む光のみ透過し、逆方向の光を遮断する部品）の光学結晶育成装置向けイリジウム及びプラチナ製ルツボについては、新規販路の開拓も寄与し、受注が好調に推移いたしました。この結果、売上高10,527百万円(前年同四半期比439.2%増)、売上総利益4,837百万円(前年同四半期比4,517百万円増)となりました。

［薄膜］

旺盛なデータセンター投資を背景に、記憶媒体として使用されるHD（ハードディスク）向けスパッタリングターゲットの受注は引き続き好調に推移するとともに、半導体向けターゲットの受注が伸長し、売上高7,822百万円(前年同四半期比195.1%増)、売上総利益3,533百万円(前年同四半期比179.8%増)となりました。

［サーマル］

半導体製造向けの底堅い交換需要に加えて、半導体製造装置メーカー及び海外半導体メーカーの設備投資が好調に推移したことから、売上高2,262百万円(前年同四半期比61.3%増)、売上総利益821百万円(前年同四半期比101.4%増)となりました。

［ファインケミカル・リサイクル］

苛性ソーダ製造等に使用される電極向け貴金属化合物が好調に推移するとともに、化学プラント向け化合物についても持ち直しの動きが見られた結果、売上高7,567百万円(前年同四半期比85.4%増)、売上総利益4,160百万円(前年同四半期比345.3%増)となりました。

［サプライチェーン支援］

貴金属価格の上昇を背景に、売上高9,389百万円(前年同四半期比90.6%増)、売上総利益1,053百万円(前年同四半期比134.2%増)となりました。

②　海外売上

当第１四半期連結累計期間における海外売上高は26,584百万円(総売上高に占める割合は70.7%)となりました。地域別にはアジア向け売上高は11,434百万円(海外売上高に占める割合は43.0%)、欧州向け売上高は2,972百万円(海外売上高に占める割合は11.2%)、北米向け売上高は12,177百万円(海外売上高に占める割合は45.8%)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は157,085百万円(前連結会計年度末比14,124百万円の増加)、総負債は73,810百万円(前連結会計年度末比9,348百万円の増加)、純資産は83,274百万円(前連結会計年度末比4,776百万円の増加)となりました。

①　流動資産

当第１四半期連結会計期間末における流動資産残高は125,602百万円となり、前連結会計年度末比10,475百万円増加いたしました。これは主に、仕掛品が6,638百万円、売掛金が2,273百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

②　固定資産

当第１四半期連結会計期間末における固定資産残高は31,482百万円となり、前連結会計年度末比3,649百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定が2,194百万円、機械装置及び運搬具が1,381百万円それぞれ増加したことによるものであります。

③　流動負債

当第１四半期連結会計期間末における流動負債残高は63,748百万円となり、前連結会計年度末比10,241百万円増加いたしました。これは、未払法人税等が3,791百万円減少しましたが、短期借入金が9,000百万円、支払手形及び買掛金が4,588百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

④　固定負債

当第１四半期連結会計期間末における固定負債残高は10,062百万円となり、前連結会計年度末比892百万円減少いたしました。これは長期借入金が957百万円減少したことが主な要因であります。

⑤　純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産残高は83,274百万円となり、前連結会計年度末比4,776百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益が8,863百万円ありましたが、配当金を4,058百万円支払ったことにより、利益剰余金が4,804百万円増加したことが主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年８月６日付「2026年６月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で発表しております計画から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,602	8,982
受取手形	127	70
売掛金	7,514	9,788
商品及び製品	9,791	9,670
仕掛品	7,558	14,197
原材料及び貯蔵品	74,580	75,983
未収消費税等	5,212	6,250
デリバティブ債権	1,314	291
その他	1,424	367
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	115,126	125,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,316	4,261
機械装置及び運搬具（純額）	9,789	11,171
土地	3,009	3,009
リース資産（純額）	272	216
建設仮勘定	4,292	6,487
その他（純額）	168	175
有形固定資産合計	21,850	25,322
無形固定資産		
ソフトウエア仮勘定	3,731	3,888
その他	67	76
無形固定資産合計	3,798	3,964
投資その他の資産		
投資有価証券	55	54
繰延税金資産	1,820	1,830
その他	311	312
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,185	2,195
固定資産合計	27,833	31,482
資産合計	142,960	157,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,975	38,563
未払金	2,690	4,972
短期借入金	―	9,000
１年内返済予定の長期借入金	4,559	4,394
未払法人税等	7,888	4,097
資産除去債務	48	―
賞与引当金	510	232
役員賞与引当金	220	―
設備関係未払金	206	136
リース債務	105	84
その他	3,302	2,266
流動負債合計	53,507	63,748
固定負債		
長期借入金	9,237	8,280
退職給付に係る負債	918	948
資産除去債務	23	71
長期未払金	401	401
リース債務	362	351
その他	10	9
固定負債合計	10,954	10,062
負債合計	64,462	73,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,662	10,662
資本剰余金	12,379	12,379
利益剰余金	56,328	61,133
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	78,120	82,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	4
為替換算調整勘定	125	106
退職給付に係る調整累計額	101	94
その他の包括利益累計額合計	231	204
新株予約権	77	77
非支配株主持分	69	67
純資産合計	78,498	83,274
負債純資産合計	142,960	157,085

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	23,201	37,584
売上原価	18,750	23,175
売上総利益	4,451	14,408
販売費及び一般管理費	1,040	1,365
営業利益	3,410	13,042
営業外収益		
受取家賃	5	6
為替差益	―	1,445
デリバティブ評価益	560	―
その他	16	27
営業外収益合計	581	1,480
営業外費用		
支払利息	270	376
為替差損	352	―
デリバティブ評価損	―	1,022
その他	13	25
営業外費用合計	636	1,424
経常利益	3,356	13,098
税金等調整前四半期純利益	3,356	13,098
法人税、住民税及び事業税	873	4,242
法人税等調整額	154	△6
法人税等合計	1,028	4,236
四半期純利益	2,328	8,861
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,328	8,863

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	2,328	8,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	9	△18
退職給付に係る調整額	2	△7
その他の包括利益合計	12	△26
四半期包括利益	2,341	8,835
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,341	8,837
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（棚卸資産と固定資産との間の振替）

保有する貴金属資産の利用実態を各四半期において見直しており、その結果、保有目的に変更が生じたものについて、棚卸資産と有形固定資産との間で振替えを行っております。

当第１四半期連結累計期間においては、当該見直しの結果、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。

これにより「原材料及び貯蔵品」が1,491百万円減少し、「商品及び製品」が3百万円、「機械装置及び運搬具」が1,467百万円増加しております。また、「仕掛品」が1,265百万円減少し、「建設仮勘定」が1,285百万円増加しております。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	前連結会計年度 （自　2025年７月１日 至　2026年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
	増減額（百万円）	増減額（百万円）	増減額（百万円）
商品及び製品	－	△151	3
原材料及び貯蔵品	205	△323	△1,491
仕掛品	△102	△439	△1,265
機械装置及び運搬具	△212	446	1,467
建設仮勘定	109	468	1,285

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他(注１)	合計(注２)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケミカル・リサイクル	サプライチェーン支援	計		
売上高								
日本	1,023	614	735	1,574	265	4,213	44	4,258
アジア(日本以外)	10	1,378	625	0	3,775	5,790	6,190	11,980
欧州	228	270	15	1,419	723	2,658	1,950	4,608
北米	690	387	26	1,087	162	2,353	―	2,353
顧客との契約から生じる収益	1,952	2,651	1,402	4,081	4,927	15,015	8,185	23,201
外部顧客への売上高	1,952	2,651	1,402	4,081	4,927	15,015	8,185	23,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―	―
計	1,952	2,651	1,402	4,081	4,927	15,015	8,185	23,201
セグメント利益	320	1,262	408	934	449	3,374	1,076	4,451

(注１)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない仕入商品および製品等の販売であります。当第１四半期連結累計期間において、サプライチェーン支援用の商品在庫を超える強い引き合いに対応するため、イリジウム・ルテニウムについて、原材料在庫からの貴金属販売を実施しました。その結果、原材料在庫からの貴金属販売における売上高は7,858百万円、売上総利益は1,036百万円となり、それぞれが「その他」のセグメントに含まれております。

(注２)　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他(注１)	合計(注２)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケミカル・リサイクル	サプライチェーン支援	計		
売上高								
日本	952	1,141	1,214	5,743	1,933	10,985	15	11,000
アジア(日本以外)	525	2,772	955	294	6,886	11,434	―	11,434
欧州	6	975	21	1,398	569	2,972	―	2,972
北米	9,042	2,933	71	130	―	12,177	―	12,177
顧客との契約から生じる収益	10,527	7,822	2,262	7,567	9,389	37,569	15	37,584
外部顧客への売上高	10,527	7,822	2,262	7,567	9,389	37,569	15	37,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―	―
計	10,527	7,822	2,262	7,567	9,389	37,569	15	37,584
セグメント利益	4,837	3,533	821	4,160	1,053	14,407	1	14,408

(注１)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない仕入商品および製品等の販売であります。
(注２)　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	294百万円	287百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。